

令和3年度 事務事業評価表

9666
一般会計

事務事業名	スポーツ大会開催事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和34年度			設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市民		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）	
	事業費	1,570	2,043	4,089	
	人件費	7,525	5,262	5,262	
目 的	総事業費	9,095	7,305	9,351	
市民の体力向上及び競技力向上を図ります。		4年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・大和市民総合スポーツ選手権大会、大和市駅伝競走大会、スポーツフェスタを開催します。 ・大和市民ゴルフ大会（年2回）、大和市民まつりスポーツイベントの開催を支援します。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止。		国支出金		0	
		県支出金		0	
		市債		0	
		その他		614	
		一般財源		3,475	
		合 計		4,089	
3. 活動内容					
活動指標 1	名称	大会等開催回数		単位	回
	内容説明	主催・委託・支援した大会の回数			
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
		実 績	7	6	6
活動指標 2	名称	広報掲載回数		単位	回
	内容説明	大会の告知及び結果の掲載			
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
		実 績	9	6	6
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
		実 績			
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
		実 績			
課 題	・より多くの市民参加を促すため、開催日の設定や周知方法について継続的に検討を行う必要があります。				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが想定される中、大会ごとのガイドライン遵守を前提に、感染対策を十分に検討するなど、安全・安心を確保してできる限り多くの大会開催を目指し、スポーツへの関心を高めていきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	31年度	2年度	3年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	市民の健康を維持向上するには、スポーツに取り組む機会をより広く、かつ継続的に提供できるよう各種スポーツ大会の開催に対する支援が必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	31年度	2年度	3年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。
	A	B	B	コロナ禍において、実施できなかった大会が多くあるが、安全に運営する方法や、開催方法等について検討する必要があります。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	31年度	2年度	3年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	各種団体の協力により、適正な水準で大会・イベントが実施されています。また中止にはなりましたが、市駅伝競走大会では、スポーツ振興くじ助成金を受け実施準備を行い、経費の削減が図られています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	31年度	2年度	3年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	スポーツフェスタなど、気軽に体を動かしてもらうことで、市民の健康維持向上を図る事業は、事業への参加は無料とするのが妥当です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	31年度	2年度	3年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	各種広報手段を有効に活用し、多くの参加者を得られるように努めます。

令和3年度 事務事業評価表

9668
一般会計

事務事業名	スポーツ教室開催事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和39年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）
	事業費	4,778	4,746	5,497
	人件費	743	744	744
目 的	総事業費	5,521	5,490	6,241
スポーツに関心を持ち、親しむ機会を提供します。	4年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：委託】 ・各種団体が独自で取り組むことが難しい種目、また市の施策に発展的につながるスポーツ教室を開催します。 ※令和3年度は新型コロナの影響で一部の事業を中止しました。	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			5,497
	合 計			5,497

3. 活動内容						
活動指標 1	名称	開催種目数			単位	種目
	内容説明	各教室で開催した種目数				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度	
		予 定	12	11	12	
	実 績	3	4	---		
活動指標 2	名称	開催延べ教室数			単位	教室
	内容説明	開催延べ教室数				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度	
		予 定	17	16	17	
	実 績	6	4	---		
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度	
		予 定				
	実 績			---		

4. 今後の方針等						
今後の方針等	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	<ul style="list-style-type: none"> 運動機会が得にくい子育て世代、働く世代にも広く参加いただけるよう設備や開催日程に配慮します。 これまで開催していなかった種目を取り入れ、より多くの市民が参加できるよう努めます。 委託先であるスポーツ・よか・みどり財団が中心となり、総合型地域スポーツクラブ等との連携を図り、スポーツ教室での体験から、引き続き地域で継続的にスポーツを楽しむことができる環境を整えます。 					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	31年度	2年度	3年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	子育て世代、働く世代、障がいをお持ちの方や、コロナ禍において、運動習慣が失われた方等、すべての市民が気軽に生涯にわたりスポーツを行いやすい環境を整える必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	31年度	2年度	3年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止せざるを得ない事業が多くありましたが、今後は感染対策を講じた上で、スポーツ活動を再開していく必要があります。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	31年度	2年度	3年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	委託事業としており、効果的かつ効率的に事業を実施しています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	31年度	2年度	3年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	市民の誰もがスポーツに取り組む機会を提供することを目的としていることから、参加料は、無料が適当と考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	31年度	2年度	3年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	各種広報手段を有効に活用し、市民が参加しやすい企画で多くの参加者を得られるように努めます。

令和3年度 事務事業評価表

9669
一般会計

事務事業名	スポーツ関係団体支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和27年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
大和市社会体育関係団体		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）
	事業費	3,995	3,990	4,221
	人件費	7,730	6,930	4,697
目 的	総事業費	11,725	10,920	8,918
市民の体力向上、スポーツ精神の養成、青少年の健全育成等を図ります。	4年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		4,221
		合 計		4,221

3. 活動内容						
活動指標 1	名称	スポーツ少年団本部登録団体数			単位	団体
	内容説明	スポーツ少年団本部への総登録団体数				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度	
		予 定	13	13	13	
	実 績	13	13	---		
活動指標 2	名称	体育協会加盟団体数			単位	団体
	内容説明	大和市体育協会への各種目加盟団体総数				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度	
		予 定	24	24	24	
	実 績	24	24	---		
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度	
		予 定				
	実 績			---		
課 題	団体の自主性や独自性強化のための支援策を検討する必要があります。					

4. 今後の方針等						
今後の方針等	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・多くの市民がスポーツに親しむことができるよう、引き続き関係団体の活動を支援していきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	31年度	2年度	3年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	スポーツ活動へのニーズが多様化していることから、社会体育団体の活動を支援することで、市民に様々なスポーツに親しむきっかけを提供していく必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	31年度	2年度	3年度	A : 十分に成果を上げている。
	A	A	A	各団体が効率的に事業を実施しており、成果が上がっております。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	31年度	2年度	3年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	限られた事業費の中で効率的に執行されており、経費は適正な水準です。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	31年度	2年度	3年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	本市のスポーツ推進、活性化を目的とした事業であり、負担を求めるものではありません。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	31年度	2年度	3年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	事業費を有効に活用し、多くの市民がスポーツに親しめるよう関係団体の活動を支援するとともに、様々な周知方法を活用し、情報提供を行っています。

令和3年度 事務事業評価表

15952
一般会計

事務事業名	ゆとりの森スポーツ施設管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成19年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
ゆとりの森スポーツ施設（芝生グラウンド・テニスコート・中規模・大規模・スポーツハウス）	2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）	
	事業費	32,560	31,920	32,519
	人件費	2,229	744	744
目 的	総事業費	34,789	32,664	33,263
ゆとりの森スポーツ施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。	4年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	32,519		
手段、手法【実施手法：指定管理】	合 計 32,519			
・施設の維持管理及び運営を指定管理により実施します。				

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	利用可能日数	単位	日	
	内容説明	施設の利用可能日数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	355	356	355
		実 績	296	356	---
成 果（効果・予測）	・市民が良好な環境の中で施設を利用できます。				
活動指標 2	名称	利用者数	単位	人	
	内容説明	施設の利用者数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	130,000	130,000	130,000
		実 績	117,129	145,344	---
活動指標 3	名称		単位		
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
		実 績			---
活動指標 4	名称		単位		
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
		実 績			---
課 題	・施設利用者の増加が見込まれることから、指定管理者と連携し、より快適にスポーツが行えるよう管理運営を行っていく必要があります。				

4. 今後の方針等				
今後の方針等	31年度	I：現状のまま継続	2年度	I：現状のまま継続
	3年度	I：現状のまま継続		
	・施設の一部に経年劣化が見られることから、部分補修などを通じて良質な利用環境の維持に努めます。 ・芝生グラウンドについては、引き続き適切なタイミングでエアレーションや除草作業等を実施し、良好な利用環境の維持に努めます。 【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】			

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	31年度	2年度	3年度	A : 市が関与する必要性が高い。 公共施設の管理運営に関する事業であるため、市が関与する必要があります。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	31年度	2年度	3年度	A : 十分に成果を上げている。 多くの市民の方にご利用いただき、成果が上がっています。
	A	A	A	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	31年度	2年度	3年度	A : 経費は適正な水準である。 指定管理制度の導入により、経費は適正な水準となっています。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	31年度	2年度	3年度	A : 受益・負担は適正である。 施設の態様に応じた受益者負担となっています。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	31年度	2年度	3年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。 各種広報手段を活用した情報提供や予約システムによる利便性の向上を図っています。
	A	A	A	

令和3年度 事務事業評価表

23771
一般会計

事務事業名	大和スタジアム・つきみ野野球場・宮久保野球場施設管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和45年度		設定無し	

2. 事務事業の概要				
対 象	大和スタジアム・つきみ野野球場・宮久保野球場			
目 的	総事業費	(単位：千円)		
		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）
	事業費	56,822	70,087	63,047
	人件費	743	744	744
手段、手法【実施手法：委託・指定管理】	総事業費	57,565	70,831	63,791
	4年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			634
	一般財源			62,413
	合 計			63,047
野球場施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。				
・野球場施設の維持管理及び運営を指定管理により実施します。				

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	利用者数	単位	人	
	内容説明	3施設年間利用総人数			
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
		実 績	110,000	110,000	110,000
活動指標 2	名称	利用可能日数	単位	日	
	内容説明	利用可能日数（大和スタジアム）			
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
		実 績	307	308	307
活動指標 3	名称		単位		
	内容説明				
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
		実 績			
活動指標 4	名称		単位		
	内容説明				
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
		実 績			
成 果（効果・予測）	・市民が良好な環境の中で施設を利用できます。				
課 題	・良好な施設環境保持のため、計画的な維持補修が必要です。				

4. 今後の方針等				
今後の方針等	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅰ：現状のまま継続
	3年度	Ⅰ：現状のまま継続		
<ul style="list-style-type: none"> ・3施設ともに老朽化が進んでいるため、指定管理者と連携を図り、維持補修及び改修に向けて調整を図ります。また公共施設保全計画とも足並みをそろえながら計画的かつ効率的な維持管理を進めていきます。 ・令和4年度には大和スタジアムの空調設備の一部を改修する予定です。 <p>【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】</p>				

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	31年度	2年度	3年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	公共施設の管理運営にかかわる事業であるため、市が関与する必要性があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	31年度	2年度	3年度	A : 十分に成果を上げている。
	A	A	A	大和スタジアムを中心に、施設として十分な成果を上げています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	31年度	2年度	3年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	平成18年度から指定管理者制度を導入し、経費は適正な水準です。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	31年度	2年度	3年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	施設の態様に応じた受益者負担となっています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	31年度	2年度	3年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	各種広報手段を活用した情報提供や予約システムによる利便性の向上を図っています。

令和3年度 事務事業評価表

32057
一般会計

事務事業名	地域スポーツ推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成25年度			設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象	総事業費 (単位：千円)					
市民		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）		
	事業費	1,100	1,893	6,265		
	人件費	7,634	6,731	7,147		
目 的	総事業費	8,734	8,624	13,412		
市民が主体的にスポーツに取り組み、世代を超えた交流が促進されるよう、地域スポーツの推進を図ります。	4年度事業費（予算額）財源内訳					
手段、手法【実施手法：直営】		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		6,265		
		合 計		6,265		
・スポーツ関連イベントを実施し様々な場面で「する」「みる」「ささえる」「つながる」それぞれの分野からスポーツに親しむことができる機会を提供します。	3. 活動内容					
・総合型地域スポーツクラブの活動を支援します。	活動指標 1	名称	総合型地域スポーツクラブ設置数	単位	団体	
・本市をホームタウンとする「横浜F・マリノス」との連携を図り、スポーツへの関心を高めます。		内容説明	総合型地域スポーツクラブの設置数			
※令和3年度は新型コロナの影響で一部の事業を中止しました。		指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
			実 績	3	3	3
成果（効果・予測）	活動指標 2	名称	「夢の教室」実施クラス数	単位	クラス	
・より多くの人々が、気軽にスポーツを楽しむことができる環境が整えられます。		内容説明	「夢の教室」を実施したクラス数			
		指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
			実 績	106	0	61
課 題	活動指標 3	名称	出前講座「スポーツだいすき！」実施回数	単位	回	
		内容説明	出前講座「スポーツだいすき！」を実施した回数			
		指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
			実 績	15	15	15
・総合型地域スポーツクラブの自主的な運営に向けた支援を継続する必要があります。	活動指標 4	名称		単位		
・国内での国際大会開催等による「する」「みる」「ささえる」スポーツへの関心の高まりに対応する必要があります。		内容説明				
・市内スポーツ情報をより効果的に発信する方法を継続的に調査研究する必要があります。		指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
			実 績	1	4	---

4. 今後の方針等				
今後の方針等	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	3年度 Ⅱ：見直しのうえで継続 ・新型コロナウイルス感染症により、多くの事業が中止となる中、多くの人が集まるイベントの開催が自粛されていますが、実施する場合には十分な対策を取り、安全・安心なイベント運営が必要です。 ・東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー創出に貢献できるよう、スポーツ教室や観戦スポーツの開催など、多角的にスポーツの魅力を発信し、引き続きスポーツへの関心を高めます。 ・熱中症、感染症等に配慮しながら、安全に事業を実施できるよう努めます。 【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】			

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	31年度	2年度	3年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	令和3年度も「夢の教室」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、今後も開催を継続することで、スポーツや講義を通じて青少年の健全な育成に貢献していきます。また「トップスポーツ観戦デー」では今後も話題性の高い種目を積極的に誘致することで、多くの市民にスポーツを「みる」機会を提供します。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	31年度	2年度	3年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	A	B	B	令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見合わせる事業が多くありましたが今後は感染対策を十分に図りながら、再びスポーツ活動を支援する必要があります。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	31年度	2年度	3年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	様々な取り組みが求められる中、限られた予算で対応しています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	31年度	2年度	3年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	幅広い市民を対象とした事業を実施しており、受益の公平性が図られています
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	31年度	2年度	3年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	様々な媒体を用いて広く情報発信を行うことで、多世代の市民がスポーツに関わる機会を提供しています。

令和3年度 事務事業評価表

33356
一般会計

事務事業名	女子サッカー推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成24年度			設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市民		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）	
	事業費	3,205	3,142	5,310	
	人件費	8,914	7,147	7,595	
目 的	総事業費	12,119	10,289	12,905	
地域スポーツの推進を図るため、女子サッカーに取り組む市民の活動を支えます。	4年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0	
手段、手法【実施手法：直営】		県支出金		0	
		市債		0	
		その他		0	
		一般財源		5,310	
		合 計		5,310	
・「大和なでしこカップ」等、女子サッカーに関するイベントを開催します。 ・ホームタウンチーム「大和シルフィード」の活動を通じたシティセールスを展開するための支援を行います。 ・女子サッカーの環境整備を行うための調査、研究を行う ※令和3年度は新型コロナウイルスの影響で一部の事業を中止しました。	3. 活動内容				
	活動指標 1	名称	女子サッカー関連のイベント回数	単位 回	
成 果（効果・予測）	活動指標 1	内容説明	女子サッカー関連のイベントの実施回数		
		指標値	2年度	3年度（当該年度）	4年度
			予 定	30	30
		実 績	14	16	---
・女子サッカー人口の増加とともに、女子サッカーに対する市民意識が高まります。	活動指標 2	名称	女子サッカー関連イベントの参加者数	単位 人	
		内容説明	女子サッカー関連イベントの参加者数		
		指標値	2年度	3年度（当該年度）	4年度
			予 定	7,000	7,000
実 績	1,879	1,985	---		
課 題	活動指標 3	名称	「大和シルフィード」ホームゲーム平均来場者数	単位 人	
		内容説明	「大和シルフィード」ホームゲーム平均来場者数		
		指標値	2年度	3年度（当該年度）	4年度
			予 定	700	700
実 績	304	274	---		
	活動指標 4	名称		単位	
		内容説明			
		指標値	2年度	3年度（当該年度）	4年度
			予 定		
実 績			---		

4. 今後の方針等				
今後の方針等	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	3年度 Ⅱ：見直しのうえで継続 ・女子サッカー人口の裾野を広げるために、「大和なでしこカップ」の開催や女子小中学生を対象とした体験会を継続的に開催し、女子サッカー事業の取り組みを定着させ、認知拡大を図ります。 ・「女子サッカーのまち大和」の実現のため、ホームタウンチーム「大和シルフィード」のプロ化に向けて継続的な支援を行います。 ・女子サッカー事業の成果を検証するとともに、「女子サッカーのまち大和」の将来的なビジョンについて検討していきます。 【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】			

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	31年度	2年度	3年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	女子サッカーのまちを目指す上で、市が積極的に関与する必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	31年度	2年度	3年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	A	B	B	本市で唯一ホームタウンチームに認定されている「大和シルフィード」が、日本初の女子プロサッカーリーグであるWEリーグ参入を目指しています。横浜F・マリノスとも連携を図り、シティセールスの向上やさらなる認知拡大のために、さらなる支援を検討します。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	31年度	2年度	3年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	女子サッカー関連事業は、最低限かつ多くのボランティアスタッフに支えられて実施しており、経費は適正に執行されています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	31年度	2年度	3年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	女子サッカー関連事業は「する」「みる」「ささえる」「つながる」を含めたスポーツに関わる多くの市民を主体としており、受益の公平性は図られています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	31年度	2年度	3年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市内外に対して、様々な媒体を用いて広く情報発信を行うとともに、「大和シルフィード」の活動を通じて、地域の活性化を図ります。

令和3年度 事務事業評価表

45137
一般会計

事務事業名	スポーツセンター施設大規模改修事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 有			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	令和03年度	令和03年度	1年	

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民・利用者		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）
	事業費	0	12,848	0
	人件費	0	744	0
目 的	総事業費	0	13,592	0
施設の適正な機能水準を維持し、安全で快適なスポーツ環境を整えます。	4年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	0		
合 計 0				
手段、手法【実施手法：直営】	<ul style="list-style-type: none"> 大和スポーツセンターにおいて、施設の老朽化などによる支障箇所を改修・更新・補修します。 			

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	工期内工事等の完了件数		単位	件
	内容説明	予定した工期内に工事や委託業務が完了した件数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	0	1	0
	実 績	0	1	---	
活動指標 2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
	実 績			---	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な維持管理が必要です。 				

4. 今後の方針等				
今後の方針等	31年度	—	2年度	—
			3年度	Ⅲ：廃止または終了
<ul style="list-style-type: none"> 計画的に事業を進めるため、令和4年度は事業がありません。 				

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	31年度	2年度	3年度	A：市が関与する必要性が高い。
	—	—	A	公共施設であり、基本的に行政が改修を行う必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	31年度	2年度	3年度	A：十分に成果を上げている。
	—	—	A	現在の手法により、十分に成果を上げています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	31年度	2年度	3年度	A：経費は適正な水準である。
	—	—	A	効率的な業務を行っており適正です。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	31年度	2年度	3年度	A：受益・負担は適正である。
	—	—	A	施設の改修は施設設置者が行う必要があり、負担は適正です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	31年度	2年度	3年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	—	—	A	利用者の意見を聴くなど、社会的な配慮を行いながら事業を行っています。

令和3年度 事務事業評価表

9667
一般会計

事務事業名	スポーツ大会選手派遣事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和27年度			設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
大和市代表選手		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）	
	事業費	0	0	193	
	人件費	743	744	744	
目 的	総事業費	743	744	937	
各種大会に選手を派遣し、本市代表選手の競技力向上を図るとともに、他市との親善及び選手間の交流を推進します。	4年度事業費（予算額）財源内訳				
	国支出金	0			
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・かながわ駅伝競走大会に本市代表選手を選出し、派遣します。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で、事業を中止。	県支出金	0			
	市債	0			
	その他	0			
	一般財源	193			
	合 計	193			
3. 活動内容					
活動指標 1	名称	派遣選手数		単位	人
	内容説明	各種大会への選手派遣数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	12	12	12
		実 績	0	0	---
成 果（効果・予測）	・市代表選手には、大会への出場や大会に向けた練習等を通じて競技力の向上が図られます。				
活動指標 2	名称	派遣役員数		単位	人
	内容説明	各種大会の役員派遣数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	35	35	35
		実 績	0	0	---
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
		実 績			---
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
		実 績			---
課 題	・代表選手の選出において、市の協会に登録しない選手の情報を把握することが課題となっています。				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	31年度	I：現状のまま継続	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続
	・令和4年度は3年ぶりの開催を予定しており、引き続き大和市代表選手の競技力向上に係る支援を行います。					

令和3年度 事務事業評価表

9670
一般会計

事務事業名	スポーツ活動奨励事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和37年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
全国大会及び国際大会に出場する市内在住の個人・団体		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）
	事業費	95	220	370
	人件費	1,059	1,052	1,052
目 的	総事業費	1,154	1,272	1,422
競技力の高い者に奨励金を支給し、その活動を奨励します。	4年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	370		
	合 計	370		
手段、手法【実施手法：直営】	・全国大会及び国際大会に出場した個人・団体に奨励金を支給します。			

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	教育委員会表彰候補者選考会の開催数		単位	回
	内容説明	スポーツ振興の為、被表彰候補者を選考します。			
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
		実 績	3	3	3
活動指標 2	名称	奨励金交付件数（個人・団体）		単位	件
	内容説明	一定以上の成績を収めた選手へ奨励金を交付した件数です。			
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
		実 績	70	70	70
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
		実 績			
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
		実 績			
課 題	・競技種目の多様化・細分化に伴い、大会規模や競技者数も様々なものがあるため、対象となる大会を検討する必要があります。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で、奨励金交付件数が減じたと推測される。				

4. 今後の方針等				
今後の方針等	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・国内外を問わず、また、メジャースポーツ、マイナースポーツ、ニュースポーツなど、競技種目の多様化や各競技大会の規模の違いにも目を向けながら、引き続き交付基準の見直しに関して必要な情報を収集し調査・研究を進め、スポーツ活動の奨励を目的に広く支援を進めていきます。			

令和3年度 事務事業評価表

9671
一般会計

事務事業名	スポーツ施策管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和34年度			設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
スポーツ推進に関連する施策		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）	
	事業費	107	160	214	
	人件費	1,486	744	744	
目 的	総事業費	1,593	904	958	
スポーツ推進審議会の審議を通じて、スポーツ推進施策の適正かつ効率的な実施を図ります。	4年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0	
手段、手法【実施手法：直営】 ・市内関係団体役員や市民を委員に委嘱し、必要な議案等を審議します。		県支出金		0	
		市債		0	
		その他		0	
		一般財源		214	
		合 計		214	
3. 活動内容					
活動指標 1	名称	スポーツ推進審議会開催回数		単位	回
	内容説明	スポーツ推進審議会の開催回数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	3	3	3
	実 績	3	3	---	
活動指標 2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
	実 績			---	
課 題	・スポーツをとりまく環境変化を踏まえた審議が今後必要となります。				

4. 今後の方針等				
今後の方針等	31年度	I：現状のまま継続	2年度	I：現状のまま継続
	3年度	I：現状のまま継続		
・指定管理者の評価、スポーツ推進施策の進行管理に加え、令和5年度末で計画期間終了を迎える大和市スポーツ推進計画の改定について検討を行います。				

令和3年度 事務事業評価表

9672
一般会計

事務事業名	学校施設スポーツ開放事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和51年度		設定無し	

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市内在住、在学又は在勤が2分の1以上を占める10名以上の団体	2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）		
	事業費	6,963	7,073	29,431	
	人件費	14,435	6,263	6,263	
目 的	総事業費	21,398	13,336	35,694	
学校施設を利用してスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供します。	4年度事業費（予算額）財源内訳				
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・小・中学校の校庭及び体育館等を登録団体に開放します。 ・学校施設を利用したい団体の登録手続を行います。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止。	国支出金	0			
	県支出金	0			
	市債	0			
	その他	3,663			
	一般財源	25,768			
	合 計	29,431			
3. 活動内容					
活動指標1	名称	校庭開放延件数		単位	件
	内容説明	小・中学校すべての校庭開放の延べ件数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	3,000	3,000	3,000
		実 績	1,721	2,364	---
活動指標2	名称	体育館・武道場開放延件数		単位	件
	内容説明	小・中学校すべての体育館・武道場開放の延べ件数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	10,000	10,000	10,000
		実 績	5,484	7,261	---
活動指標3	名称	プール開放延日数		単位	日
	内容説明	小学校のすべてのプール開放の延べ日数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	216	0	0
		実 績	0	0	---
活動指標4	名称	登録団体数		単位	団体
	内容説明	小・中学校の開放利用登録団体数（夜間開放を除く）			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	430	430	430
		実 績	414	370	---
課 題	・校庭や体育館などの施設利用率が高くなっているため、施設ごとの稼働率を考慮した利用方法等の検討を行っていく必要があります。				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	31年度	I：現状のまま継続	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続
	・学校開放地区の課題・問題に対して、各地区学校開放事業実施委員会と情報を共有して、課題解決にあたります。また各地区学校開放事業実施委員会と連携して、効率的に事業の運営を行ってまいります。					

令和3年度 事務事業評価表

9673
一般会計

事務事業名	スポーツセンター施設管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和61年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民、大和スポーツセンター体育会館・競技場・プール		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）
	事業費	183,856	189,096	189,668
	人件費	3,716	1,489	1,489
目 的	総事業費	187,572	190,585	191,157
大和スポーツセンター施設の管理運営を行い、良好なスポーツ施設環境を提供します。	4年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：委託・指定管理】 ・施設の維持管理及び運営を指定管理により実施します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		6,970
		一般財源		182,698
		合 計		189,668

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	開場日数	単位	日	
	内容説明	スポーツセンターの年間開場日数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	347	347	347
		実 績	347	347	---
成 果（効果・予測）	・市民が良好な環境の中で施設を利用できます。				
活動指標 2	名称	利用者数	単位	人	
	内容説明	スポーツセンターの年間利用者総数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	400,000	400,000	400,000
		実 績	217,720	397,203	---
活動指標 3	名称		単位		
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
		実 績			---
活動指標 4	名称		単位		
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
		実 績			---
課 題	・利用者数の増加に向け、効率的に運営していくことが必要です。また、スポーツ競技用の備品の老朽化が進んでいるため、計画的な更新が必要です。				

4. 今後の方針等				
今後の方針等	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
				3年度
・老朽化が進んでいる施設の適切な維持管理、また、計画的な修繕を指定管理者と連携して行うことにより、施設利用者が安全・快適に施設を利用できるよう、環境整備を進めます。 【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】				

令和3年度 事務事業評価表

9674
一般会計

事務事業名	野球場（下福田）施設管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和45年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
下福田野球場		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）
	事業費	6,609	8,011	8,006
	人件費	743	744	744
目 的	総事業費	7,352	8,755	8,750
野球場施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。	4年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		20
		一般財源		7,986
		合 計		8,006
手段、手法【実施手法：指定管理】				
・下福田野球場の維持管理及び運営を指定管理により実施します。				

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	利用者数	単位	人	
	内容説明	野球場施設年間利用総人数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	15,000	15,000	15,000
実 績	7,914	11,013	---		
活動指標 2	名称	利用可能日数	単位	日	
	内容説明	年間利用可能日数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	293	299	300
実 績	237	299	---		
活動指標 3	名称		単位		
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
実 績			---		
活動指標 4	名称		単位		
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
実 績			---		
課 題	・良好な施設環境保持のため計画的な維持補修が必要です。				

4. 今後の方針等				
今後の方針等	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅰ：現状のまま継続
	3年度	Ⅰ：現状のまま継続		
<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な維持補修等を行うなど、指定管理者と連携して野球場施設の適正な管理運営を行うことで市民サービスの向上を図っていきます。 ・継続的に野球場として活用できるよう、施設（土地）所有者の意向について確認し、土地の取得について引き続き検討していきます。 <p>【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】</p>				

令和3年度 事務事業評価表

9675
一般会計

事務事業名	庭球場施設管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和54年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
草柳庭球場・渋谷西庭球場		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）
	事業費	2,546	3,062	2,977
	人件費	743	744	744
目 的	総事業費	3,289	3,806	3,721
庭球場を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。	4年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		2,977
		合 計		2,977
手段、手法【実施手法：直営・指定管理】				
<ul style="list-style-type: none"> 草柳庭球場の維持管理及び運営は指定管理により実施します。 また、渋谷西庭球場の維持管理及び運営は地元団体により実施します。 				

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	利用可能日数（草柳庭球場）		単位	日
	内容説明	草柳庭球場の年間利用可能日数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	358	359	359
実 績	267	359	---		
活動指標 2	名称	利用者数		単位	人
	内容説明	草柳・渋谷西の2施設の年間利用者数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	60,000	60,000	60,000
実 績	38,882	50,722	---		
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
実 績			---		
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
実 績			---		
課 題	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設環境保持のため、計画的な維持補修が必要です。 				

4. 今後の方針等				
今後の方針等	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅰ：現状のまま継続
	3年度	Ⅰ：現状のまま継続		
<ul style="list-style-type: none"> 草柳庭球場については、指定管理者と連携して施設の適正な管理運営を行い、引き続き利用環境の向上に努めます。 渋谷西庭球場については、特に老朽化による修繕箇所の把握に努め、必要に応じて修繕を行い、利用環境の向上に努めます。 <p>【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】</p>				

令和3年度 事務事業評価表

9677
一般会計

事務事業名	スポーツ指導者育成支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和37年度		設定無し	

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
交付先：大和市スポーツ推進委員連絡協議会 大和市スポーツ推進委員、大和市社会体育振興委員	事業費	2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）
	人件費	5,084	4,394	6,056
	総事業費	3,716	744	2,978
目 的	総事業費	8,800	5,138	9,034
スポーツ推進委員及び社会体育振興委員等、スポーツの普及に必要な指導者を育成します。	4年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	0		
手段、手法【実施手法：直営】 ・スポーツ推進委員などを各種大会・研修会に派遣し、指導能力を高め、地域スポーツ活動を活性化させていただきます。 ・大和市社会体育関係団体補助金交付要綱により、大和市スポーツ推進委員連絡協議会に補助金を交付し、団体の活動を支援します。	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	6,056		
	合 計	6,056		

3. 活動内容						
活動指標 1	名称	定例会回数			単位	回
	内容説明	全体定例会議の実施回数				
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度	
		実 績	5	5	5	
活動指標 2	名称	各部会回数			単位	回
	内容説明	4 専門部会及び実行委員会の実施回数				
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度	
		実 績	25	25	25	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度	
		実 績				
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度	
		実 績				
課 題	<p>・競技的なスポーツだけではなく、子どもの外遊びや健康のための運動習慣など、スポーツの範囲が広がっていく中、地域スポーツの振興を担うスポーツ指導者の負担が大きくなっています。</p> <p>※令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で、定例会・各部会回数が減じたと推測される。</p>					

4. 今後の方針等						
今後の方針等	31年度	I：現状のまま継続	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続
	<p>・スポーツ推進委員、社会体育振興委員の活動支援を通じて、多くの市民が様々なスポーツにふれあう場や機会を創出し、市民に対する生涯スポーツの普及を図ります。</p>					

令和3年度 事務事業評価表

9678
一般会計

事務事業名	スポーツ広場管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和54年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
桜森スポーツ広場・下福田スポーツ広場・南林間スポーツ広場・深見歴史の森スポーツ広場		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）
	事業費	30,394	30,363	26,949
	人件費	743	744	744
目 的	総事業費	31,137	31,107	27,693
スポーツ広場を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。	4年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			26,949
	合 計			26,949
手段、手法【実施手法：委託・指定管理】				
・桜森スポーツ広場、下福田スポーツ広場の維持管理及び運営を指定管理により実施します。また、南林間スポーツ広場、深見歴史の森スポーツ広場の維持管理及び運営は（公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団への委託により行います。				

3. 活動内容						
成 果（効果・予測）	活動指標 1	名称	利用可能日数（桜森・下福田スポーツ広場）		単位	日
		内容説明	年間の利用可能日数			
		指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
			予 定	359	359	359
			実 績	298	359	---
課 題	活動指標 2	名称	利用者数（桜森スポーツ広場、下福田スポーツ広場）		単位	人
		内容説明	2施設の合計の利用者数			
		指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
			予 定	35,000	35,000	35,000
			実 績	23,384	30,330	---
	活動指標 3	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
			予 定			
			実 績			---
	活動指標 4	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
			予 定			
			実 績			---

4. 今後の方針等						
今後の方針等	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅰ：現状のまま継続	3年度	Ⅰ：現状のまま継続
	・指定管理者と連携し、施設利用者が安全・快適に施設を利用できるよう、利用環境の向上に努めます。 【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					

令和3年度 事務事業評価表

24232
一般会計

事務事業名	宮久保スポーツ広場管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成20年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
宮久保スポーツ広場		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）
	事業費	4,662	5,508	5,508
	人件費	743	744	744
目 的	総事業費	5,405	6,252	6,252
スポーツ広場を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。	4年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		5,508
		合 計		5,508
手段、手法【実施手法：指定管理】				
・宮久保スポーツ広場の施設の維持管理及び運営を指定管理により実施します。				

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	利用可能日数		単位	日
	内容説明	宮久保スポーツ広場の年間利用可能日数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	307	308	307
成 果（効果・予測）	実 績	254	308	---	
活動指標 2	名称	利用者数		単位	人
	内容説明	宮久保スポーツ広場の年間利用者数			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	13,000	13,500	14,000
課 題	実 績	13,384	18,110	---	
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
	実 績			---	

4. 今後の方針等				
今後の方針等	31年度	I：現状のまま継続	2年度	I：現状のまま継続
			3年度	I：現状のまま継続
・必要に応じて適切な補修を実施するなど、周辺環境に配慮した施設整備を実施します。また、指定管理者と連携して一層の市民サービスの向上を図ります。 【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】				

令和3年度 事務事業評価表

43920
一般会計

事務事業名	ねんりんピック開催事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ推進係	徳永 英和

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する		
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	令和02年度	令和04年度	3年	

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）
主たる参加者は60歳以上の者。ただし児童の参加など世代間交流等にも積極的に配慮する。	事業費	0	0	16,091
	人件費	7,431	6,700	11,346
目 的	総事業費	7,431	6,700	27,437
長寿社会を健やかで明るいものとし、国民一人ひとりが積極的に健康づくりや社会参加に取り組み、活動の意義について広く国民の理解を深めることを目的とします。	4年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	8,710		
	一般財源	7,381		
手段、手法【実施手法：直営】	合 計 16,091			
・第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会（ねんりんピックかながわ2022）開催にあたり、大和スポーツセンターを会場に太極拳交流大会を開催します。				
※令和3年度は、新型コロナの影響で、事業を中止。				

3. 活動内容					
活動指標1	名称	参加チーム数	単位	チーム	
	内容説明	太極拳交流大会（リハーサル大会及び本大会）の参加チーム数			
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
		実 績	40	50	60
		0	0	---	
活動指標2	名称		単位		
	内容説明				
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
		実 績			---
活動指標3	名称		単位		
	内容説明				
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
		実 績			---
活動指標4	名称		単位		
	内容説明				
	指標値	予 定	2年度	3年度（当該年度）	4年度
		実 績			---
課 題	<ul style="list-style-type: none"> 選手、観客をはじめとした関係者の安全に配慮する必要があります。 多岐にわたる関係者に協力いただくことから、関係各課および関係団体等と密に連携する必要があります。 				

4. 今後の方針等				
今後の方針等	31年度	—	2年度	I：現状のまま継続
			3年度	I：現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に実施を予定していたリハーサル大会については、前年に引き続き新型コロナウイルスの感染状況等により、延期されました。 令和4年度のリハーサル大会・本大会開催に向け、関係団体と連携し準備を進めます。 				